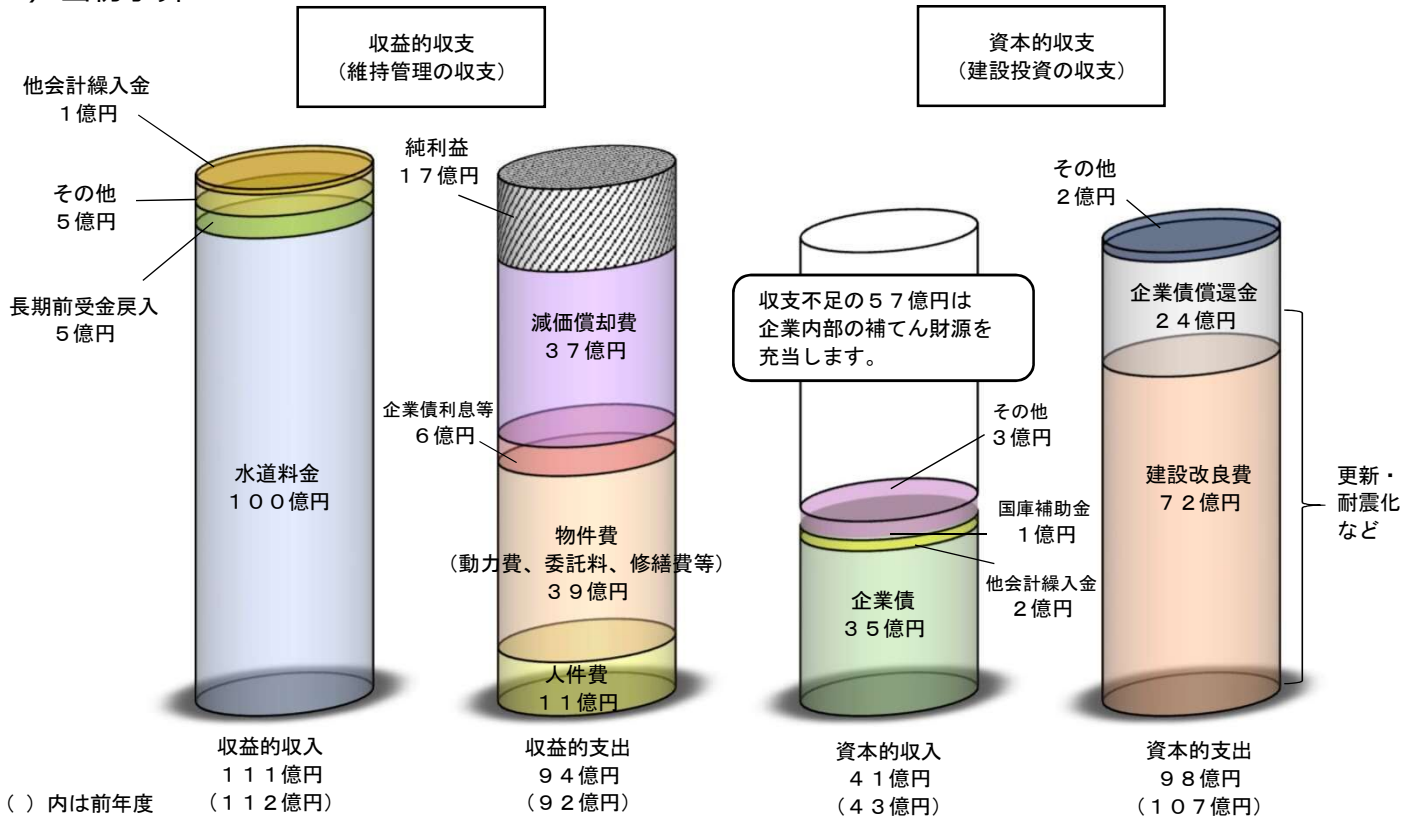




上下水道局 令和4年度予算の概要・主な実施事業

1 水道事業

(1) 当初予算



(2) 中期財政収支計画と予算との比較

(単位: 百万円)

項目	中期財政収支計画 ①	予算額 ②	②-①
	水道料金	9,894	10,059
長期前受金戻入 (特別利益含む)	426	461	35
その他収入	443	462	19
他会計繰入金 (一般会計)	214	114	▲ 100
収入計	10,977	11,096	119
人件費	1,229	1,123	▲ 106
物件費	4,868	3,920	▲ 948
減価償却費	3,590	3,703	113
企業債利息等	697	594	▲ 103
その他	10	12	2
支出計	10,394	9,352	▲ 1,042
経常損益	583	1,744	1,161

(単位: 百万円)

項目	中期財政収支計画 ①	予算額 ②	②-①
企業債 (借入金)	3,460	3,460	0
他会計繰入金 (一般会計)	186	232	46
国庫補助金	70	54	▲ 16
その他	12	340	328
収入計	3,728	4,086	358
建設改良費	6,298	7,140	842
企業債償還金	2,490	2,421	-69
その他	200	201	1
支出計	8,988	9,762	774

※各金額を百万円未満四捨五入で表記しているため、合計額や差引額が一致しない場合があります。

全ての水道管の更新工事を資本的支出で実施することとしたため、増減が大きくなっています。

上下水道局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指す姿

健全で強靱な上下水道を、子どもたち、孫たちの世代に引き継ぎ、現在のサービス水準を維持・向上していく、持続可能な上下水道事業の実現。

令和4年度の主な取組 水道事業

1 水道基盤の強化

拡充 管の耐震化・老朽化対策 4,964,157千円（前年度 3,979,035千円）

管総延長2,600kmを平均83年（管路更新率1.2%）で更新する目標の達成

		R1(実績)	R2(実績※)	R3(予算)	R4(予算)
延長	計画値	9.0km	15.6km	23.4km	31.3km
	実施	8.3km	11.6km	24.3km	31.4km
更新率	計画値	0.34%	0.6%	0.9%	1.2%
	実施	0.32%	0.44%	0.93%	1.2%

※R2の発注ベースの実績は、延長：19.3km、更新率：0.64%



管の耐震化・老朽化対策

更新率向上に向けた取組
 【継続】債務負担行為の活用 15工事 大規模発注等 19工事

継続 施設の耐震化・老朽化対策 1,292,481千円（前年度 2,839,462千円）

重要施設の耐震化・老朽化対策の実施

主な施設	R1	R2	R3	R4
清水谷津浄水場（老朽）				設備更新等
日本平観光地水道配水池（耐震）				土木工事等
向敷地配水池（耐震）				土木工事等
門屋取水場（耐震）				設備工事等



清水谷津浄水場
非常用自家発電設備の更新
上：更新前 下：更新後

2 アセットマネジメントによる事業の最適化

継続 施設の効率化（小規模化・統廃合等） 214,621千円（前年度 36,000千円）

蒲原城山配水池改修工事[小規模化]、八幡配水場改良関連工事[増強] ほか



蒲原城山配水池

3 危機管理体制の強化

拡充 危機管理体制の強化 10,778千円（前年度 1,955千円）

- 給水拠点の整備（新整備手法の導入に係る実施設計業務委託） 7,000千円
- 情報伝達強化のためのマルチ無線機の増設（10台→32台） 3,778千円



従来の耐震性貯水槽(埋設中)

4 新たなニーズへの対応

新規 グリーン・カーボンニュートラル 127,776千円【一部再掲】

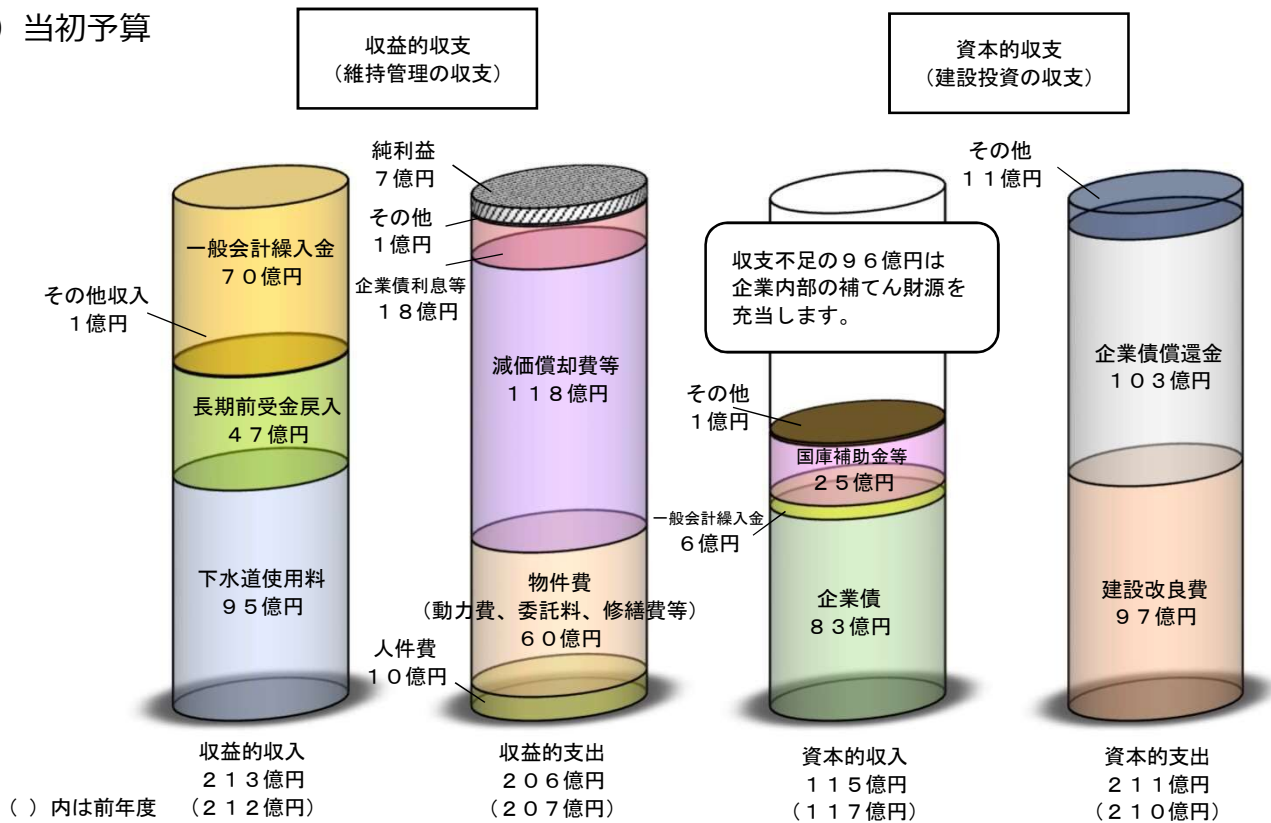
- 省エネ効率の高い（CO2削減）ポンプ等更新工事等 3件 114,776千円
- 脱炭素水道システム構築へ向けた施設調査業務委託 13,000千円

拡充 デジタル化推進 24,603千円（前年度 4,527千円）【一部再掲】

- フロントオフィスの充実（デジタル技術を活用したサービス導入計画の策定支援） 9,889千円
- バックオフィスの充実（施設の連携効率化のための管網解析システムの導入） 10,703千円
- "（水道料金及び下水道使用料徴収システムの再構築） -千円（債務負担行為） ほか

2 下水道事業

(1) 当初予算



(2) 中期財政収支計画と当初予算との比較

(単位: 百万円)

項目	中期財政	予算額	②-①	
	収支計画①	②		
収入	下水道使用料	9,459	9,535	76
	長期前受金戻入	4,541	4,712	171
	その他収入	52	65	13
	一般会計繰入金	6,619	6,974	355
	収入計	20,671	21,286	615
支出	人件費	972	978	6
	物件費	5,420	5,978	558
	減価償却費等	11,299	11,779	480
	企業債利息等	2,004	1,797	▲207
	その他	95	99	4
	支出計	19,790	20,631	841
経常損益	881	655	▲226	

(単位: 百万円)

項目	中期財政	予算額	②-①	
	収支計画①	②		
収入	企業債	8,858	8,325	(A) ▲533
	一般会計繰入金	569	569	0
	国庫補助金	2,665	2,490	(A) ▲175
	その他	84	120	36
	収入計	12,176	11,504	▲672
支出	建設改良費	11,000	9,715	(A) ▲1,285
	企業債償還金	10,274	10,261	▲13
	その他	1	1,100	(B) 1,099
	支出計	21,275	21,076	▲199

※各金額を百万円未満四捨五入で表記しているため、合計額や差引額が一致しない場合があります。

- (A)令和3年度補正予算により事業を前倒ししたことによる減
 (B)有価証券11億円の新規購入による増



令和4年度の主な取組

下水道事業

1 下水道管・施設の強靱化 5,674,858千円

拡充 重要な管・施設の地震対策 1,361,436千円（前年度 1,081,065千円）

緊急輸送路下や防災拠点と浄化センターを接続する等の重要な管について、管の内面を補強する管更生工等により耐震化を実施。

- 高松処理区外
下水道管路施設耐震化工事
- 高松処理区
田町稲川遮集幹線耐震化工事



耐震化施工前



耐震化施工後

拡充 管・施設の老朽化対策 4,313,422千円（前年度 3,579,611千円）

アセットマネジメント手法を用い、経年劣化が原因で起こる重大な道路陥没事故や施設の処理機能の低下を未然に防止。

- 高松処理区
下水道管路施設改築工事
- 清水南部浄化センター
新系最初沈殿池設備改築工事

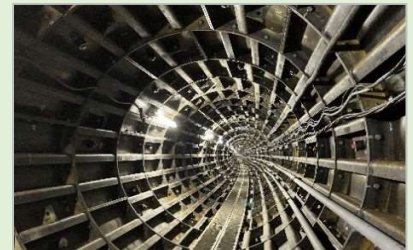
2 浸水対策の推進 2,164,340千円

(重点プロジェクト) ※別紙

継続 浸水対策 2,164,340千円（前年度 3,205,317千円）

浸水対策推進プランに基づき、浸水対策地区において、雨水幹線、雨水ポンプ場などの基幹施設整備を着実に実施。

- 追分二丁目地区 大沢雨水1号幹線整備
- 城北二丁目地区 唐瀬1号雨水幹線整備
- 川岸町・渋川地区
渋川雨水1号幹線及び 渋川雨水ポンプ場整備



工事中の渋川雨水1号幹線の様子

3 水環境の保護・改善 1,875,802千円

拡充 水環境の保護・改善 1,875,802千円（前年度 1,549,957千円）

下水道の未普及解消のため、下水道事業計画区域内の整備を実施。

- 中島処理区（大谷、服織、中島地区外）
- 静清処理区（興津、長崎、飯田地区外）



汚水管新設状況

4 新たなニーズへの対応 118,852千円

新規 グリーン・カーボンニュートラル 113,136千円【再掲】

- 温室効果ガス削減に向けた取り組みの検討（創エネルギー・省エネルギー導入可能性調査）

拡充 デジタル化推進 5,716千円

- フロントオフィスの充実（デジタル技術を活用したサービス導入計画の策定支援）
- バックオフィスの充実（工事写真等既存書類の電子化）

※国庫補助金の配分により、実施事業に変更が生じる可能性があります。